

IIコリ6章1~10節 神は言われます。「恵みの時に、わたしはあなたに答え、救いの日に、あなたを助ける。」見よ、今は恵みの時、今は救いの日です。(2)

今日、今、この時間が、一度だけの福音の機会です。Remnantはこの機会を逃すことなく、三つのことを持ちましょう。その三つは何でしょうか。

1つ目、私の機会を持ちましょう。カルバリの丘で神様と離れた罪と死、地獄の権威を終わらせたキリストの契約を握ります。オリーブ山で語られた神の国と聖霊の満たしの契約を握ります。この契約を味わい始めれば、マルコの屋上の部屋の答えがそのまま来ます。2つ目、教会の機会を持ちましょう。教会には237か国の人々がだれでも来て、癒やされて、サミットになることができる三つの庭が必要です。また、金土日時代を開いてRemnantが癒やされて、タラントを見つけて、みことばの流れに集中することができるようにします。3つ目、出会いの機会を持ちましょう。神様はRemnantに出会いの祝福を与えてくださいました。使徒8章のエチオピアの宦官、10章の科尔ネリウス、11章のステパノの迫害により集まった散らされた者たち、13章に完ぺきな聖霊の導きによる出会い、ローマ16章ローマ福音化の主役たちのようにです。

契約の中に入った人は100年、1000年の答えを越えて、永遠の答えを受けました。Remnantは今日、今、契約を握って祈りましょう。

神様、一度だけの福音の機会を逃すことがありませんように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2024.07.28.2部

IIコリ7章1~9節 愛する者たち。このような約束を与えられているのですから、肉と霊の一切の汚れから自分をきよめ、神を恐れつつ聖さを全うしようではありませんか。(1)

Remnantがすることがあります。イスラエルは私中心です。強大国は、いつも戦争と侵略だけしています。弱小国は持っているものを奪われています。この人々の器を変えるのです。それとともに、神様の慰めの約束を持って行くのです。

1つ目、神様がくださったやぐらを私の慰めにしましょう。三位一体の神様が今も私たちに働いておられます。御座の力と、過去、今日、未来を解決する答えを私たちにくださいました。5つの力と空中の権威を持つ支配者に勝つことができる力もいただきました。今から未来を見るCVDIPと三つの庭の契約を持って祈り始めましょう。2つ目、神様がくださった旅程を行きましょう。三位一体の神様が働かれる、その道を行きます。10の土台、10の奥義、5つの確信、9つの流れ、一生の答え62を持って、御座のキャンプをするようになります。3つ目、神様がくださった道しるべによって慰めを受けます。どこに行っても、聖霊の導きを受ければ、カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋、アンティオキア、アジア、マケドニア、ローマの道しるべが建てられるのを見ます。

Remnantは、たましいとからだ、現場を生かす祈りを始めましょう。その中で、神様のまことの慰めを受けて、現場に伝えましょう。

\*やぐら：見張りをするためにたてた高い塔を意味します。

\*旅程：旅行の過程や日程を意味します。

\*道しるべ：ある所までの距離、および方向を教えるしるしを意味します。

神様、神様の慰めの約束を持って、私と現場を生かすRemnantになりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2024.08.04.1部

2  
(水)

にしゆるい かな  
二種類の悲しみ

IIコリ7章10~16節 神のみところに添った悲しみは、後悔のない、救いに至る悔い改めを生じさせますが、世の悲しみは死をもたらしめます。(10)

悲しみには二つの種類があります。ほとんどの人は、目に見える肉的なことのために悲しみます。このような世の悲しみは滅びる悲しみです。しかし、神様のみところに添った悲しみは救いに至るようになります。パウロが何を悲しんだのか見てみましょう。

1つ目、ユダヤ人伝道について悲しみました。ユダヤ人は救いより律法、割礼をさらに重要視して、\*派閥争いまでしていました。パウロは、ユダヤ人が救われることができるならば、私自身がキリストから引き離されて、のろわれた者となっても良いとさえ思っていると言いました。2つ目、マケドニア伝道についてです。マケドニアは偶像神殿を作って暗闇文化を作り出す所でした。救いとは遠く離れたギリシア文化が入ってきていて、強大国ローマの影響を受けている所でした。パウロはマケドニア福音化のために悲しみました。3つ目、ローマ伝道についてです。西暦70年にローマはイスラエルを滅ぼしました。79年には、ポンペイにわがわがが臨みました。そして、313年まで、多くのクリスチャンを殺して迫害しました。後には、キリスト教をローマの宗教として認めましたが、その後にも、多くの問題が来ました。パウロは、このようなローマ福音化のために悲しみました。

Remnant は、神様のみところに添った悲しみをしまししょう。それは福音を伝えるための悲しみ、次世代に向けた悲しみです。世の中を生かすための祈りを始めましょう。

\*派閥：個人の利益によって、似ていることを持っている人が結びついて作ったグループのこと

神様、神様のみところに添った悲しみ、福音を伝える悲しみ、次世代に向けた悲しみを持つことができますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2024.08.04.2部

3  
(木)

み ぎ ぜったい  
御座の絶対やぐら

使16章6~10節 それから彼らは、アジアでみことばを語ることを聖霊によって禁じられたので、フリュギア・ガラテヤの地方を通過して行った。こうしてミシアの近くまで来たとき、ビティニアに進もうとしたが、イエスの御霊がそれを許されなかった。(6~7)

Remnant は御座の絶対やぐらを持って行きましょう。やぐらは神様が私とともにおられるということと、最も平安を味わう24祈りです。すると25と永遠の答えがしがたてきます。Remnant はイエス様が説明されたやぐら、旅程、道しるべを持って三つのことをすれば良いのです。

1つ目、味わうことです。Remnant 7人と、彼らを助けた親、世界を動かしたパウロは、イエス様がくださった契約を握って祈りで味わいました。Remnant も契約を祈りで味わって、すべてを祈りに変えましょう。2つ目、待つことです。すべての所にイエス様が約束された御座の力が臨むように待ちましょう。すると、現場にいる未信者がRemnant とともにおられる神様を見るようになります。3つ目、挑戦です。いよいよ神様の作品が出てきます。Remnant が神様がくださる答えを受けて伝えるようになります。すると、世界と教会が生かされます。

Remnant は朝に目を覚ましたら、祈りを始めましょう。仕事を始めたり、人に会い始めるときからは、昼です。昼には味わって、待って、挑戦する祈りをしましょう。夜にはみことば成就と祈りの答え、救いの働きを確認しましょう。朝、昼、夜に祈りを始めましょう。

神様、祈りで崩れない御座の絶対やぐらを建てますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2024.04.02.ヨーロッパ伝道集会1講

4  
(金)

ヨーロッパの時刻表-動く御座の絶対やぐら

使 16 章 6~10 節 パウロがこの幻を見たとき、私たちはただちにマケドニアに渡ることになった。彼らに福音を宣べ伝えるために、神が私たちを召しておられるのだと確信したからである。(10)

Remnant は朝に、ほかの人より少し早く起きて準備をしましょう。イエス様がくださったやぐら、旅程、道しるべの契約を握って、少しだけ祈るのです。すると神様の働きを見るようになります。人に会ったり、勉強を始める時が昼です。そのとき、パウロは三つのことをしました。

1つ目、癒やしの絶対やぐらを作りました。パウロは医者が癒やすことができない病人を癒やしました。悪霊につかれた人や不治の病の人を治しました。(使 13:5~12、16:16~18、19:8~20) 2つ目、Remnant の絶対やぐらを建てました。パウロは Remnant がいる会堂に入りました。そこで、なぜキリストが必要なのか、なぜ祈るのか、まことの答えは何なのかを説明しました。(使 17:1、18:4、19:8) 3つ目、未来の絶対やぐらを建てました。神様が世々にわたって隠されたことと、とこしえまであることをくださいました。それを今、見るのです。(ロマ 16:25~27)

Remnant は夜に深い時間を持ちましょう。先にサミットタイムを通して霊的サミットになりましょう。また、サミットの姿勢を備えて、サミットの器を準備しましょう。そのとき、上から与えられる目に見えない力が与えられます。

神様、朝、昼、夜の祈りの中で癒やし、Remnant、未来の絶対やぐらを建てますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

5  
(土)

Remnant の時刻表-あらかじめ見たこと(準備)

使 19 章 8~20 節 パウロは会堂に入って、三か月の間大胆に語り、神の国について論じて、人々を説得しようと努めた。(8)

Remnant の時刻表は、あらかじめ見るのが基準です。あらかじめ見るようになれば、そのときから準備することができます。そのために、三つの祈りを続けましょう。

1つ目、朝の時間の祈りです。私の霊を生かす霊的サミットの祈りをしましょう。三位一体の神様が私のやぐらになって、私の人生と世界福音化を導いてくださいます。この事実が私に刻印、根、体質になるように祈るのです。神様がくださった契約を黙想して祈る黙想運動が起きるでしょう。2つ目、昼の時間の祈りです。すべてを祈りに変える技能サミットの祈りをしましょう。そのときから、神様がくださったタラントが見え始めます。どこに行っても、神様が私に与えてくださる、ただ、唯一性、再創造を見つけるシステムができます。また、神様が私と、私たちと、すべてのこととともにおられる、ウィズ、インマヌエル、ワンネスが私のシステムになります。3つ目、夜の時間の祈りです。私の現場と環境を生かす文化サミットの祈りをしましょう。みことばが成就する10の土台と現場を生かす10の奥義、流れを変える9つを祈りの中で見つけるのです。

Remnant は朝と昼、夜に5分以上、祈ってみましょう。世界を征服することが起こるのを見るでしょう。

神様、朝、昼、夜の祈り時間を続けて、あらかじめ見て、準備することができますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン